

京都切り絵蔵時記

月刊

あじenda 11月

2006年



事務所 〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター2F 活動支援室内
TEL: 075-647-3535 FAX: 075-647-3536
E-mail: ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

事務局 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
京都環境局地球温暖化対策課内
TEL: 075-222-4037 FAX: 075-222-4039

KES認証事業部 〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2
京都工業会館2F TEL/FAX: 075-323-6686
E-mail: kesma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

<ホームページ> <http://ma21f.web.infoseek.co.jp/>

みやこ
京のアジェンダ21フォーラム 事務局通信
月刊あじendaは当フォーラムの活動紹介を中心とした
京都発、環境関係の情報発信紙です

11月は京都観光のピーク 観光地交通対策が実施される季節です

『京都市観光調査年報』（京都市産業観光局）によると、平成17年の1年間に4700万人を超える観光客が京都を訪れています。1年の内で最も観光客が多い月は11月で、昨年の調査結果では年間観光客の14%が11月に集中しています。

京都市では、マイカー観光の増加による観光地の道路渋滞や排気ガスの増加による地球温暖化を防ぐ対策として、観光客の交通手段をマイカーから公共交通機関に転換させる施策を毎年実施しています。平成13年度の嵐山での交通社会実験に始まった観光ピーク時の交通対策が、下記の内容で今年の11月にも実施されます。

◆パーク&ライド

【実施日】 11/18（土）・19（日）・23（祝）・25（土）・26（日）
京福三条口駅・天神川四条・JR丹波口駅・京都南IC・京阪浜大津駅の付近に臨時の駐車場を設置し、マイカー観光客には駐車場にマイカーを置いて、観光地には公共交通機関（バス・鉄道）に乗り換えて移動してもらうという施策です。一層の利用促進のため、市内の臨時駐車場について、昨年までは若干の金額を徴収していた駐車料金（協力金）を今年は無料にします。

◆嵐山地区

【実施日】 11月中（平日・休日とも）
嵐山のメインストリートである長辻通～渡月橋～嵯峨街道において、一方通行を中心とした交通規制を実施します。

今年初めての試みとして、長辻通では11月の1ヵ月間、平日も大型車の北行き一方通行の交通規制を実施します。

同じく今年初めての試みとして、11月18・19・23・25・26日には、市営嵐山観光駐車場を、一般車両を駐車させない観光バス専用駐車場（予約制）とします。駐車場の収容台数を超える観光バスが嵐山に入ってくることによって生じる周辺道路の渋滞の解消を目指します。

◆東山区

【実施日】 11/18（土）・19（日）・23（祝）・25（土）・26（日）
東山には清水寺など有名社寺が多く、地区別の観光入込客数では嵐山を上回って市内ナンバーワンとなっています。東山においても、実施日の10時から17時までの間、市営清水観光駐車場を、一般車両を駐車させない観光バス専用駐車場とします。

マイカーは、付近の民間駐車場が満車となった時点で、市営岡崎公園（左京区）、市営円山（東山区）、御池地下（中京区）の3駐車場に誘導します。

上記の施策の詳細については京都市都市計画局交通政策室のホームページ（<http://www.city.kyoto.jp/tokei/trafficpolicy/>）をご覧ください。また、交通ワーキンググループではホームページ「京の交通交流ひろば」（<http://traffic.ifdef.jp/>）に取材レポートを掲載する予定です。



まちなかを歩く日 11月11日（土）・12日（日）

今年で7回目を迎え、今や毎年恒例になった「まちなかを歩く日」が平成18年も行われます。「まちなかを歩く日」は、美術工芸展示やコンサート、オープンカフェなど、多くのイベントの集合体です。京都市中京区（二条通～四

条通、堀川通～鴨川）のエリア内にある、9つの学区（明治期につくられた小学校を拠点とする自治組織）や商店街、通り会、NPOなどがエリア内のあちこちで、それぞれの特性、資源、思いをかたちにするイベントを同時に、多様に、連携して繰り広げる11月11日（土）・12日（日）の2日間です。

事業を推進している「歩いて暮らせるまちづくり推進会議」当フォーラムも幹事として参加しています。

それぞれのイベントの内容や日時など、詳しくは市内のポスターや下記のホームページをご覧ください。

歩いて暮らせるまちづくり推進会議 <http://arukura.net/>

★アルバイト募集★

京都市の「歩いて楽しいまちなか戦略」を応援するため、まちなかプロジェクト（2006年度重点プロジェクト）では都心交通政策に関するアンケート調査を実施します。ついては以下の通り調査員のアルバイトを募集します。

【職種】 街頭アンケート調査員

【日時】 11月11日（土）と11月12日（日）の2日間

両日とも9:30集合～17:30解散

現地集合・現地解散

【場所】 京都市都心部（三条通・四条通付近）

【日当】 1日あたり6500円（交通費・昼食代込み）

1日毎、調査終了時に支払い

【募集人員】 6名（2日間とも勤務できる方）

【〆切】 11月4日（土）

【応募方法】

アルバイトご希望の方は

京のアジェンダ21フォーラム事務局

（担当：長谷川）まで

連絡先は右肩参照

Agenda Forum

11月の
ミーティングと
主催行事の予定

- 1日（水）10:00～12:00 脱温暖化行動キャンペーン戦略的な新規創出メニュー（エネルギー等）会議（市役所寺町第1会議室）
- 6日（月）10:00～12:00 まちなかプロジェクト（2006年度重点プロジェクト）会議（市民空間きょうと）
- 11日（土）・12日（日）9:30～17:00 まちなかプロジェクトアンケート調査実施（上記参照）
- 14日（火）10:00～12:00 自然エネルギーWG会議（気候ネットワーク事務局）
- 21日（火）14:00～16:00・17:00～19:00 省エネアドバイザー研修会 チャレンジ省エネ相談（京エコロジーセンター。2ページ参照）
- 22日（水）18:30～20:45 KES倶楽部研修会・交流会（京都東急ホテル）
- 23日（木祝）京のアジェンダ21フォーラム事務所開所
- 24日（金）京のアジェンダ21フォーラム事務所開所（京エコロジーセンター休館日につき）

「脱温暖化行動キャンペーン」～地球の未来にやさしい風を～企画検討進捗報告

2007年2月の1ヶ月間実施予定の「脱温暖化行動キャンペーン（以下、キャンペーン）」の内容について、プロジェクトチーム（以下、PT）で企画調整を進めています。PT内に設けた3つの専門チーム（交通部門、エネルギー部門、統一行動部門）で検討が進んでいる具体的な内容について、現在の進捗状況を報告します。なお、11月上旬以降、キャンペーン専用のウェブサイトを開設予定です。フォーラムウェブサイト（1ページ右肩参照）からリンクできるように準備しますので、ご注目ください。



交通部門

交通部門では以下の取組を実施します。

●交通局と取り組む公共交通利用促進

まちなかを舞台に公共交通と環境への市民の関心を高めるため、下記3企画の実施を検討中です。

○まちなかのお買い物は公共交通がお値打ち！「地下鉄+お 買い物＝100円バス」

協力店舗において一定額の買い物をした際、京都市交通局地下鉄一日乗車券を提示した客に、100円バス無料券（キャンペーン期間中有効）をプレゼントする。

○公共交通への子どもの利用促進 「地下鉄・市バスを乗りこなそう」

子ども用地下鉄一日乗車券・市バス一日乗車券を無料配布し、それを使って行った先の報告を提出してもらう。

○環境に配慮した公共交通のアピール 「100円バスは100%

BDF（※注参照）車輛」

キャンペーン期間中、100円バス（2台）を100% BDF 車輛で運行する。

●大規模社会実験を見据えた交通社会実験に向けてのアンケート調査実施

現在、京都市都市計画局交通政策室および「歩いて楽しいまちなか戦略推進協議会」において検討が進められている「歩いて楽しいまちなか戦略（以下、「まちなか戦略」）」について、市民の意見を問う「調査」を実施することを検討中です。

※注：BDF：バイオディーゼルフェューエルの略。

軽油の代わりに使うことができる植物性燃料。廃食油（家庭でてんぷらや揚げ物をした後の捨てる油）を精製してできる軽油代替燃料です。



エネルギー部門

エネルギー部門では以下の取組を実施します。

●省エネ相談所を設置

市民の皆さんにCO2をなるべく出さないライフスタイルを心がけてもらえるようにするため、省エネ相談所を設けることになりました。相談員による省エネ診断・提案のほか、省エネに関する展示を行います。来てくださった方には、記念品をお渡しする予定です。

相談日は1月26日、2月2日、2月9日の3日間に分けて、市内10箇所程度で実施する予定です。詳しくは次号以降の『月刊あじえんだ』、ウェブサイト等でお知らせします。

●京都市内のスーパー等に対し、レジ袋の有料配布を依頼

マイバッグを持参するお客さんを増やすことでレジ袋消費量を削減し、ひいてはCO2を削減するために、京都市内のスーパー等の店舗に対し、2月のキャンペーン期間中、レジ袋の有料配布等レジ袋削減のための取組をしていただけるよう依頼します。

京都市では2006年10月から「家庭ごみ有料指定袋制」がスタートしました。レジ袋の有料化を、環境負荷の少ない買物の仕方をはじめることや、店舗でのレジ袋費用の削減となる絶好の機会と捉え、ぜひ多くの店舗、市民の皆さんにご協力いただきたいと思います。

統一行動部門

●脱温暖化に向けた取組実施を幅広く呼びかけ

統一行動部門では、幅広い層の大勢の人々に対して呼びかけを行い、今すぐ出来る具体的な行動や注意点を伝えて、かつてない多くの方々に「私もやります」と宣言

していただく活動に取り組みたいと考えています。

行動期間は来年2月1日～28日の1ヶ月間です。この間、たとえば各家庭の皆様に必要な行動宣言をお願いすることを考えています。

◆エコライフの実践

- ① 厚着をして暖房を1℃下げます（目標20℃）
- ② 風呂の残り湯を洗濯に使います
- ③ 地場産野菜を選んで買います
- ④ 旬の食材を選びます
- ⑤ 使わない部屋の電気は消します
- ⑥ シャワーを流しっぱなしにしません（1分短縮）
- ⑦ 厚手で長めのカーテンを使います
- ⑧ 公共交通機関や自転車を利用します
- ⑨ 何度も利用できる容器を使った商品を選びます

⑩ マイバッグを持ち歩きレジ袋を断ります

◆エコドライブの実践

- ① アイドリングストップを実践します（5秒で省エネ！）
- ② 不要な荷物は下ろします
- ③ アクセルはゆっくり踏み込みます
- ④ 余裕を持った車間距離を保ちます
- ⑤ 通行を妨げる場所には駐車しません

上記の各項目の中からそれぞれの方が“やってみよう”と考える項目についてキャンペーン期間中の実践を宣言していただき、宣言を励みに選んだ脱温暖化の具体的な行動を継続的に行っていただくことを呼びかけます。

呼びかけは、さまざまな方法で幅広く行うことを計画中です。

宣言して下さった方々の宣言内容を温室効果ガスの排出削減量に換算することも計画中です。大勢の方が同時に取り組むことで、大きな地球温暖化対策の効果が上がることを示せばと考えています。

この統一行動メニューの呼びかけを目にされましたら、ぜひあなたも宣言と行動にご参加ください。

「脱温暖化行動キャンペーン」プロジェクトチームからの募集です

別途記載のあるもの以外の応募、問合せはフォーラム事務所（1ページ右肩面参照）までお願いします。

●子ども（小学生）を対象にした環境に配慮したグッズをPRしませんか？

「地下鉄・市バスを乗りこなそう！」企画に参加した子どもたちに、参加賞としてプレゼントする景品を募集します。2007年3月に授与式の実施を検討中です（郵送になる場合もあります）。提供いただいた企業・事業所はフォーラムウェブサイト等で提供元としてご紹介させていただきます。

応募締切：11月15日（水）

商品の必要個数：200個（予定）対象：小学生（6歳～12歳）

●協力していただける店舗募集

協力いただいた店舗は、「キャンペーン協力店」としてキャンペーンウェブサイトや新聞広告、地下鉄駅掲示ポスター等でご紹介させていただく予定です。協力の条件等については、フォーラム事務所までお問合せください。

- 100円循環バスのルート圏内で、京都市交通局一日乗車券を提示したお客様に100円循環バス無料券をお渡しいただく店舗

- 京都市内で、レジ袋の有料配布等レジ袋削減のための取組をしていただける店舗

●各専門チームのメンバー：交通部門、エネルギー部門で、それぞれ実施に向けた作業を手伝っていただける方を募集しています。

- 100円循環バス無料券配布協力店舗、レジ袋の有料配布等レジ袋削減のための取組協力店舗への依頼（依頼先紹介、依頼文書発送作業、電話依頼、店舗来訪など）

- 子どもから提出された一日乗車券活用報告の集計、返信発送作業（時給800円程度）

- 省エネ相談所の相談員（同封チラシ参照）

省エネ相談所の相談員養成研修「省エネアドバイザー研修会 チャレンジ省エネ相談」を以下の通り開催します。

日時：11月21日（火）午後の部 14:00～16:00、夜間の部 17:00～19:00 場所：京エコロジーセンター

研修内容（予定）：省エネ基礎、エコライフチェックの内容について、プレ省エネ相談、よくある質問への回答（FAQ）
問合せ先：気候ネットワーク（TEL 075-254-1011）



助成金案内 環境取組を対象とした助成金等の情報を紹介します

1.（財）トヨタ財団／2006（平成18）年度地域社会プログラム

■締切：2006年11月20日（月）当日消印有効

■募集：（財）トヨタ財団

■概要：トヨタ財団は、地域社会の再構築と活性化を目指した地域に根ざした実践的な活動を支援します。助成分野は（1）活動助成

地域社会の再構築と活性化を目指し、地域に暮らす人々が主体となった、持続的な実践プロジェクトへの助成。あるいは、実践プロジェクトの地域内での相互連携の取り組みへの助成。

（2）成果普及助成（A）地域社会の再構築と活性化を目指した活動の具体的な成果を、他の地域で類似な実践をしている人々と比較、共有することを目的とした「活動記録の出版」、（B）地域社会の再構築と活性化を目指した活動の経験からたぐえられたものを地域間で共有し、具体的な問題解決に資する、協働と連携を支える多彩な「広域ネットワーク」についての2分野です。（1）の活動助成1件あたりの助成金の上限は200万円、（2）の成果普及助成のうち（A）「活動記録の出版」は1件あたりの助成金の上限は100万円程度、（B）「広域ネットワーク」は1件あたりの助成金の上限は400万円です。

詳しい情報は京都市市民活動総合センター、財団法人トヨタ財団のホームページをご覧ください。

<http://shimin.hitomachi-kyoto.jp/pubsys/view.rbx?cd=2618>

<http://www.toyotafound.or.jp/shimin.html>

2. 東洋ゴムグループ環境保護基金

■締切：2006年11月30日（木）

■募集：東洋ゴム工業株式会社

■概要：東洋ゴムグループは地球環境保護活動を行なう非営利団体（NPO法人を含む）に助成を行なうことを目的に1992年に財団法人大阪コミュニティ財団に基金を設置しました。東洋ゴムグループ環境保護基金は従業員と会社が同額の寄付金を拠出するユニークなシステムで支えられています。詳しい応募要領については財団法人大阪コミュニティ財団のホームページをご参照ください。2007年度は助成総額3000万円を予定しています。

<http://www.osaka-community.or.jp>

<http://www.toyo-rubber.co.jp/eco/fund.html>

http://plaza.geic.or.jp/event/event_syo.php3?serial=10522

3. 環境省「地球環境研究総合推進費」19年度新規研究課題の公募

■締切：2006年11月17日（金）

■募集：環境省

■概要：地球環境研究総合推進費は、地球環境政策を科学的に支えることを目的とした環境省の競争的研究資金です。研究機関に所属する研究者であれば、産学官等を問わず研究に参画できます。10月6日（金）から11月17日（金）正午まで、平成19年度新規研究課題を公募します。

公募の対象研究や募集方針、応募方法などの詳細を記した公募要項、並びに現在進行中の研究課題などについては、推進費ホームページをご覧ください。

<http://www.env.go.jp/earth/suishinhi/index.htm>

http://plaza.geic.or.jp/event/event_syo.php3?serial=10424

事務局動静 10月～事務局スタッフの動きを報告します～

2日（月）

脱温暖化行動キャンペーン戦略的な新規創出メニュー（エネルギー等）会議
中小事業者による環境に関する地域社会貢献事業推進プロジェクト（京エコロジーセンター2006年「先進モデル事業」以下「K-CSRプロジェクト」）会議
脱温暖化行動キャンペーン統一行動メニュー会議

4日（水）自然エネルギーネットワークづくりプロジェクト（2006年度主要プロジェクト）会議

5日（木）京都環境フェスティバル2006出展者説明会出席

6日（金）まちなかプロジェクト（2006年度重点プロジェクト）会議

10日（火）自然エネルギーWG会議
醍醐コミュニティバス運行管理委員会出席（社）京都青年会議所取材対応

12日（木）京都商店連盟へキャンペーン協力依頼

13日（金）脱温暖化行動キャンペーン京都ネットワーク会議

マイバッグキャンペーン参加

16日（月）嵐山交通対策研究会出席
京都交通労働組合へキャンペーン協力依頼
まちなかプロジェクト会議

17日（火）京都市交通局へキャンペーン協力依頼
（社）京都青年会議所へキャンペーン協力依頼
フォーラム掲載新聞記事を見られた訪問者対応

18日（水）京エコロジーセンター KES 環境委員会
京エコロジーセンター情報発信交流事業部会出席
レジ袋研究会参加

19日（木）JR西日本と懇談
（社）京都工業会へキャンペーン協力依頼
20日（金）脱温暖化行動キャンペーンプロジェクトチーム会議

27日（金）平成18年度第4回幹事会・第3回常任幹事会
合同会議

30日（月）「K-CSR推進プロジェクト」チーム養正小学校見学

31日（火）醍醐コミュニティバス運行管理委員会出席





KES 認証取得企業の声



京都 学校服専門店 創業明治22年

有限会社村田堂

有限会社村田堂

(京都の学生服専門店)

TEL 075-231-1593

URL <http://www.muratado.co.jp/>

2006年8月に、KES ステップ1 を認証取得

(有)村田堂は、明治22年創業の、京都の学生服専門店です。「京都で仕事をするにはKESを認証取得しなければ恰好がつかない」と思い、KESを認証取得しました(笑)。

KESの取組としては、学校での環境教育、電気使用量の削減、仕入先・販売先に対して環境に配慮した製品の製造やリサイクルを提案するといった活動を行っています。中でも環境教育は、KESを認証取得する前からずっと取り組んできました。

現在、廃棄されたほとんどの繊維は焼却・埋め立て処分されています。自分たちが売った服を燃やさず、何とかリサイクルできないかと考え、リサイクルの出口さがしをするために、研究会に入ったこともありました。そこで分かったことは、残念ながら繊維リサイクルの現状は、非常に難しいものだということでした。そこで自分の役割は市民に意識を変えてもらい、実際にリサイクルをすすめていくことだと考え、京エコロジーセンターの環境学習講座を受けたのが、環境教育に関わるきっかけでした。

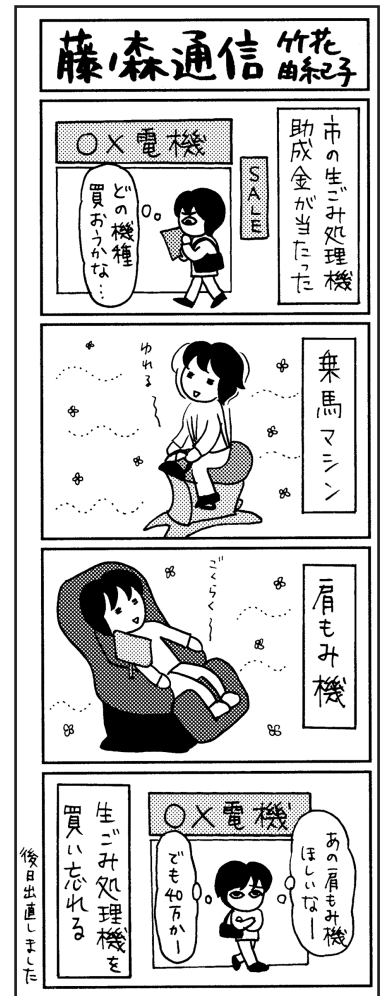
それ以来、学生服の販売という事業を生かし、服を通じて人づくり、「服育(ふくいく)」を実践してきました。例えば中学校や高校で、「服の一生」「服と印象」といったテーマで子どもたちに授業をしています。食育、服育といった様々な教育がありますが、全て人をつくるための手法、人間教育の一環です。(詳しい活動内容については、上記HPをご覧ください)

今年度は、フォーラムの企業活動ワーキンググループなどが中心になって立ち上げた「事業所の地域社会貢献事業モデルづくりプロジェクトチーム(K-CSR推進プロジェクトチーム)」のリーダーも務めることになりました。このプロジェクトでは、それぞれの地域で、学校と企業、地域住民が膝をつき合わせて、その地域ならではの環境問題への取組をすすめていけるような仕組みづくりを目指していま

す。京都の学校は、もともと町衆がつくったのがルーツだそうです。「子どもをその地域で育てる」という発想なんですね。私も地域での企業、学校の連携の仕組みが必要だと思っていましたが、そういった仕組みをつくるのは非常に難しいことだと思っていました。しかし今回プロジェクトチームが立ち上がることになり、中心になって動く人が必要だという話が事務局からあり、リーダーを引き受けさせていただくことになりました。私は自営業ですが、経営者は他に誰も頼る人がいないので、ポジティブに考えて夢を持って実践していかなければ、何もできないんです。

すぐには無理でも、これから10年、20年かけて、京都を服育のまち、環境都市として誇れるようなまちにしていきたいと考えています。

(長屋博久さん)



「服育」発表会で
(有)村田堂の環境問題への
取組を紹介する長屋さん

< KES 認証事業部より > ★ 10 月の新規認証取得 2006 年 10 月 1 日登録分

※確認審査合格企業の詳細については、ホームページ (<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kesma21f/index.htm>) をご参照ください。

●ステップ1

- KES1-0467 (株) 洛東相互建設 (京都市左京区)
- KES1-0468 岡田高鍼灸治療所 (京都市南区)
- KES1-0469 (株) 浦田建装 (京都市下京区)
- KES1-0470 (株) エレコン (本社: 東京都新宿区)
- KES1-0471 白山道路建設 (株) (京都市左京区)
- KES1-0472 (株) デリブ (京都市中京区)

●ステップ2

- KES2-0259 (株) 多賀製作所 (熊本県山鹿市)
- KES2-0260 山中産業 (株) (京都市右京区)
- KES2-0261 (株) オカムラ (京都府福知山市)
- KES2-0262 サンコーエンジニアリングプラスチック (株) (京都市南区)
- KES2-0263 福井システムズ (株) (福井県坂井市)
- KES2-0264 三共精機 (株) (京都市南区)

事務局短信

9月から11月まで京都市内ではイベント続き。私も10月は山科清水焼団地のイベントに関わらせていただきました。持続可能なまちづくりのためには、イベントも地域の固有価値を活かしたものが今後注目されていくような気がしています。(滋野浩毅) / 脱温暖化行動キャンペーンの具体的な企画が出揃ってきました。フォーラムが丸で取り組んでいるこのキャンペーン、どんなモノになるかとても楽しみにしています。(竹村光世) / 私はボランティアで野生動物の保全活動をしています。今年は各地のクマの捕殺頭数が過去最高。先日、東北の猟友会の方から電話が。「クマ肉や熊の胆が高く売れるので、被害を起こす恐れのないクマまで捕獲するために、わざと民家の柿の木の下にエサを置いてワナをかけている。でも新聞には『危険だったから捕殺した』としか出ない。実態は報道とはかけ離れたもので、このままだったら絶滅するよ」毎日こんなことを聞いているとやり切れませんが、野生動物は、私達が生きていくためにも必要な、豊かな森作りの名人です。何とか保全すべく頑張ります。(小山直美) / 毎年10月22日は京都三大祭の一つ、時代祭の催行日です。当日の京都市内では、総勢2千人の華やかな行列が通るのにあわせて、通り道に差し掛かる路線バスは随時迂回経路へと運行経路を変更します。今年は6年ぶりの日曜日。線路上だけを走るLRT(新型路面電車)には真似できないバスならではの柔軟な輸送体制を見るのも興味深いものでした。(長谷川古典)